

深川消防団ニュース



さきもり

発行 深川消防団

所在地 〒135-0042

東京都江東区木場

3丁目18番地10号

深川消防団本部

TEL : 03-3642-0119

FAX : 03-3641-4422



今年は、元気な「子ども神輿」



未来の深川消防団員たちが、元気いっぱい神輿を担ぐ



**消防団配置の
マウンテンバイク活躍**
「Jレスキュー」9月号に
掲載されました。

現在、順次各分団へ配置されているマウンテンバイクは、去る8月11日に行われた深川八幡子供連合祭の警戒においても大活躍しました。

実際の警戒にあたった本団の鳩貝副分団長によると、混雑したところでも細い路地を抜けるなど軽快に通ることが可能で、現場から本部への移動が大変スムーズにできたとのことでした。



これら、深川消防団マウンテンバイク隊の活躍は、イカロス出版社、隔月刊誌「Jレスキュー」9月号（特集：熱き心で地域を守る消防団）に掲載されました。皆さん是非ご覧になってください。



また、自転車といえば、自転車乗車時の保安帽の着用について再確認いたします。

東京都自転車の安全で適正な利用に関する条例（平成25年東京都条例第14号）が制定され、平成25年7月1日から施行されました。

このことから、深川消防団分団長会議で、公務員である消防団員も、地域の模範となるべく、自転車乗車時に保安帽（ヘルメット）を着用することを決

定しました。特に制服着用時などは必ず着用するように心がけて下さい。

余談ですが、お子さんがいらつしゃる方は、お子さんが自転車に乗る時も、ヘルメットを着用させる法律上の努力義務があります。

（道路交通法第63条の10）
皆さん、天気の良い日は、親子で揃いのヘルメットをかぶってサイクリングなどができようか。

（第八分団 庄井編集員）

**深川消防団
幹部研修会開催**
東京国際消防団
防災展2013見学

【期日／10月4日】

【場所／東京ビックサイト】

参加された分団長の感想

第九分団 分団長 下村 勝一
受付を済ませ、初めに目に飛び込んできたものは、スクリーンに流れる、津波で家や車が流されて行く映像でした。ニュースで何度となく流れている映像ですが、改めて拝見し、胸が痛み

ました。次に新型の消防車と積載車が展示しており、次世代を担う消防車は、より迅速に放水が可能になることを感じました。

他に、火災水害で使用する機材を観覧した。

最後のドラマでは、東京から岩手県へ応援団を派遣し、地元の消防隊との連携行動でした。

印象に残っている場面は、津波で倒壊した建物の、瓦礫の下敷きになっている人達を「まだ生きている人がいないか」と大声で搜索する消防団の姿です。そして、そんな消防団の方々も犠牲になっていきます。

今回の研修会は、津波の恐ろしさを改めて痛感するとともに、今後の火災水害に活かすために、勉強になりました。

第十分団 分団長 古田 保広

東京国際消防防災展2013に短時間では有りましたが、拝見して参りました。

3・11以降更に防災力が増して重要度が求められる時代となり、そして台風による記録的な大雨また竜巻等、複雑多様化する災害への対応が求められています。益々消防団の重要度が増える一方、我々一人一人の対応力、実践力向上が求められ、その結果が地域の

安心、安全を高めていく機会であると思いました。

新型の可搬ポンプが有りましたが、これからはエコロジーに配慮したポンプが主流になると感じました。

又災害時の備えがいかに重要であるか、10分団地域は高層マンションが多い場所柄、管理組合、住民の皆さん等にも一度是非、見てもらいたい展示ばかりでありました。



特に目を引いたのは、ヘルメット inリュックでした。

ヘルメット専用ポケットがあり保安帽が外側に収納できるリュックです。そして値段も手ごろ、10分団として買

せてもらいました。

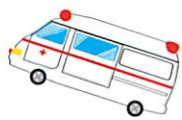


「高めよう防災力〜明日に備えて〜」

と有りましたが、10分団も明日に備えて防災力アップ目指し地域のため頑張ってください。

第三分団 分団長 赤澤 光幸

限られた時間内で、すべてを見ることは出来ませんが、複雑多様化する災害への対応としての展示品を見学し、近代消防の進んだ装備品を見て現代の水・火災害への消防団としての対応と難しさを実感しました。



(第三分団 阿部 編集員)
(第九分団 石山 編集員)
(第十分団 榎山 編集員)

◆各分団の防災訓練の風景◆

子育て研修会会場に おける親子防災教室

【期日】10月27日
【場所】南陽小・幼稚園

P T A 連絡協議会が主催する、子育て研修会のイベントが、江東区立南砂小学校・幼稚園において開催されました。東京中の幼稚園児や父兄を約2000人の住民を迎え、校庭をいっぱいにして、大縄跳びやスリッパ飛ばしなど様々な催しが行われました。



A E D 指導などでも体験者が多かったため、指導役の団員の皆さんもかなり疲れて大変だったようです。



その中に深川消防署・深川消防団第七分団・第八分団による親子防災教室を設けました。

訓練内容は、A E D 操作練習、消火訓練でした。

小型積載車前で消防コスチュームを着た子どもたちの撮影会は大好評でした、長い行列ができ、盛んに親御さんが撮影をしていました。多くの幼稚園児が来場したことで、小学校に上がってからの少年消防団入団促進につながったと思います。

自由参加イベントとしてはかなり多数の参加者を迎えました。

幼児防災紙芝居

子どもさんは、どうしても飽きてグズりますが、親の皆さんは、訓練に集中出来ます

深川消防団第10分団では、地域防災訓練や保育園防災訓練など親子で参加してくれる住民の皆様の為に、幼児(3歳～5歳位)を対象に幼児防災教育の一環として、幼児の紙芝居を行っています。



子供の時から防災の理解を深め、大きくなっても防災の大切さを意識して頂くよう活動しております。親も子どもも訓練でき一石二鳥です。皆さんの分団でもおおいに活用して下さい。

(問い合わせは田島副分団長まで)

自助・共助の力を高める

【期日/10月14日】

【場所/元加賀小学校】

10月14日の体育の日に、元加賀小学校にて江東区総合防災訓練が行われました。これは、9月1日の木場公園での訓練の他に、自助・共助の力を高め、地域の防災力を向上させるために行われました。



内容は、

【消火器にての初期消火訓練】

【消火栓を使用して行うスタンプタイプの取り扱い訓練】

【救出工具取扱い訓練】

【地震体験車による地震体験】

が消防署員、団員のほか災害時支援ボランティアの指導で行われました。

当日は、江東区医師会による

【トリアージ訓練】(応急処置の優先順位を判断する)

【炊き出し訓練】

【仮設トイレの組み立て訓練】(深川一中と六中の生徒による)なども行い、

より実践的な訓練になりました。

開会式で挨拶した山崎孝明区長は、

訓練に参加した中学生に「もしもの時

は、若い力でおじさん達を助けてね。」という言葉に会場に居た住民から大きな拍手が沸いていました。

(第四分団 正本 編集員)

災害活動力強化に伴う実践的な訓練始まる

【期日/7月より】

【場所/消防署裏庭】

モデル分団を中心に、各分団からの訓練指導者とともに消防署裏庭で行われています。

災害活動力強化に伴う実践的な訓練始まる

七月よりお行われ消防署と消防団の資機材を使って災害を想定した訓練内容です。各分団訓練指導者は分団にて団員に指導する事となります。

尚、合同点検にて成果のお披露目が行われます。

【期日/7月より】

【場所/消防署裏庭】

深川消防団は、モデル分団を設けました。第六分団を中心に、各分団も交えて消防団としては、最高級の教育訓練をしています。地域特性に応じた優先的に求められる災害活動に対応した実践的な教育訓練を行い、火災・救助等

大自然的の倍返しに備えて

訓練するは今でしょ!

深川消防団は、モデル分団を設けました。第六分団を中心に、各分団も交えて消防団としては、最高級の教育訓練をしています。地域特性に応じた優先的に求められる災害活動に対応した実践的な教育訓練を行い、火災・救助等

尚、合同点検にて成果のお披露目が行われます。

【期日/7月より】

【場所/消防署裏庭】

七月よりお行われ消防署と消防団の資機材を使って災害を想定した訓練内容です。各分団訓練指導者は分団にて団員に指導する事となります。

大自然的の倍返しに備えて

訓練するは今でしょ!

深川消防団は、モデル分団を設けました。第六分団を中心に、各分団も交えて消防団としては、最高級の教育訓練をしています。地域特性に応じた優先的に求められる災害活動に対応した実践的な教育訓練を行い、火災・救助等

尚、合同点検にて成果のお披露目が行われます。

【期日/7月より】

【場所/消防署裏庭】

七月よりお行われ消防署と消防団の資機材を使って災害を想定した訓練内容です。各分団訓練指導者は分団にて団員に指導する事となります。

大自然的の倍返しに備えて

訓練するは今でしょ!

深川消防団は、モデル分団を設けました。第六分団を中心に、各分団も交えて消防団としては、最高級の教育訓練をしています。地域特性に応じた優先的に求められる災害活動に対応した実践的な教育訓練を行い、火災・救助等

が地域全域に多発する事をふまえ、各分団が単独で火災・救助に対応する必要性、実災害を想定した消火活動、救助資器材を活用した救助、状況判断能力、十分な意識、知識、技能を有する団員を育てます。

消防署員のレベルまでとは行きませんが同様に近い訓練をしています、タイムを計り防火服の着装、消火活動、放水サポートの仕方、ホースジャバラ折り、無線交信、ロープ、ハシゴ等、いろいろな訓練をしています。

《訓練団員の岡部団員は、辛いけど楽しいです。と》・・・頑張ってください。それでは、訓練の様子を写真でご覧下さい。





9月には台風17号、三連休には大型の18号が10月には台風22号、非常に強い台風27号と今年は台風が平年より多いペースで発生しました。
我々消防団員も非常配備体制が発令され警戒に当たりました。
深川管内の被害は多くなかったが、強い風による工事中建物の足場が倒れる等の被害がありました。

台風警戒・・・
例年よりを、猛威を振るう

今年、台風発生が多い原因は赤道近くの海水の表面温度が例年より1度高かったことによりです。

入団のきっかけ



二十五年九月入団
第三分団
団員 平野 潤一

深川の皆さんの暖かさに惚れ、この地に引越しを決めました。少しでも皆さんの安全で安心な暮らしのお手伝いのできればと考え、消防団への入団を志願いたしました。先輩団員の皆様にご指導頂きながら、出来ることからコツコツと頑張ります。
ご指導宜しくお願いします。



二十五年十月入団
第三分団
団員 大野 準一

私はボランティア活動として、小学生のころから深川消防少年団に所属していました。そのため、そのころから防災や消防には感心がありました。
また両親が消防団に所属していたこともあり、自分も大人になったら消防団に入隊したいと思っていました。
今年になり、成人を迎えたため深川消防団に入隊することを決めました。

(第三分団 阿部 編集員)

岡本副団長
消防長官表彰受賞を祝う会

【期日】6月30日
【場所】深川江戸資料館

平成二十五年三月六日、私儀が消防長官永年勤続功労という立派な章を頂き、誠に感激の極みであり厚く御礼申し上げます。

消防団活動を永年勤め、本日まで来る事が出来ましたが、消防団の諸先輩・後輩達に支えられたおかげで御座います。残り少ない団活動であると思いますが、微力ながら、私は町の防火防災に全力で尽力して行きます。
今後もしよろしくお願い致します。

深川消防団の皆様、関係の皆様、誠に有難うございました。



消防団協力事業所

弊社は、防火・防災に積極的に取り組んでいます。

http://www.teisoh.co.jp/ E-mail:info@teisoh.co.jp
PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

TEISOH 株式会社 テイソウ
〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1

消防団協力事業所



株式会社 **ムトウユニパック**

代表取締役 会長 武藤 庄一

私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を目指しております。



本社 / 東京都江東区永代 1-7-12 TEL 03-3642-1141 (代表)

http://www.mutoh-u.co.jp/

支店・出張所 / 城南・東京中央・城西・横浜・千葉・四ッ谷・さいたま
栃木・前橋・新潟・水戸・長野・大阪・仙台



第35回 深川消防団消

優勝 第六分団



第35回 深川消防団消防操

準優勝 第三分団



第35回 深川消防団消防操

第三位 第九分団

お疲れさまでした、第35回消防操法大会

優秀個人賞



指揮者 第八分団 山内浩二

優秀個人賞



3番員 第七分団 大塚秀記

優秀個人賞



1番員 第六分団 田口訓正

優秀個人賞



2番員 第九分団 若狭和也

優秀個人賞



4番員 第一分団 長谷川祐二

消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として活動しています。

社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。

ホテル イースト21東京

消防団協力事業所

「大震災はいつ起こるか分からない」

弊社の社員も消防団員として活動しています。

丸八倉庫株式会社

江東区富岡 2-1-9 N.V 富岡ビル 4階

叙勲「瑞宝單光章」を祝う会

【期日】9月20日

【場所】ホテルイースト21

9月20日ホテルイースト21東京において、今井一夫前深川消防団長の叙勲を祝う会が開催されました。東京都消防協会第七支部長、特別区消防団長会第七方面理事などを務めた



今井前団長の輝かしい経歴により、会場には各界の方々約200名が集まり盛大な会となりました。

また、この会には、今井前団長在任当時の歴代深川消防署長や団担当の署員の方々も多く参加され、我々もひとしきり思い出話に花を咲かせることができました。

今井前団長は、多くの方々からの祝福に、「消防団員として40年8か月何よりの財産は、一般の生活をしていてはあり得ない貴重な経験と、団活動を通じて多くの方に巡り会えたことです。

今回の叙勲は、今まで応援してくれた家族や周りの諸先輩や皆さんのおかげです。」と述べられました。

このような、出会いや支えも、今井前団長の真摯なお人柄によるところが大いにあったことと推察します。

今回の叙勲を心よりお祝い申し上げ、深川消防団員の誇りとし、見習わなければならぬと感じました。

(第八分団 庄井 編集員)



深川消防団幹部夏季懇親会開催

【期日】8月28日

【場所】深川東天紅

八月の暑さの中、深川消防署長初め消防団幹部と友の会の皆さんとの懇親が行われました。和やかな中、夜もふけ中締では、岡本副団長の音頭で恒例の「パンザイ」を行いました。

(第一分団 長谷川 編集員)



表彰者の紹介 採法大会以降の

◆東京都消防褒章

(10月31日)

第三分団 分団長 赤澤 光幸

第四分団 副分団長 佐々木 正広

◆江東区政功労賞

(11月3日)

団本部 分団長 田口 賢治

消防署の指導者紹介

警防課 川部 課長

毎日勤務 小坂

防災安全係長 消防団担当係長

町田 吉原 西脇 副主任

1部当番 佐々木 坂大 副主任

2部当番 日高 柿崎 板井 主任 副主任

3部当番 島崎 田島 主任 係員

★救急車を呼ぶか、病院か迷ったら救急相談センターへ #7119 (携帯、PHS、フッシュ回線)

深川消防団員募集中!!

女性・勤務者・学生の方大歓迎

◆入団資格

心身ともに健康で、十八歳以上の方 消防団の区域内に居住、又は勤務の方

◆問い合わせ

深川消防団本部(深川消防署内) 電話 〇三(三六四)二〇二九